令和７年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 生活環境課　　シート No. ： 71　　作成日： 2026.5/15

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

			事務事業の背景・目的	事務事業の目標
後期基本計画	施策の大綱	Ⅳ生活環境の充実	現在、二酸化炭素等の温室効果ガスの増加による地球温暖化が問題視されており、廃棄物の焼却施設における二酸化炭素の排出も減少に向けて取り組む必要があります。 地球温暖化防止の観点からも、家庭から出るごみの量を削減することが不可欠であることから、ごみとして出すのではなく資源としての再利用を促し、市民へごみ減量化に対する意識啓発を目指します。	・ごみの減量と資源化の推進について、多世代への分かりやすい啓発、環境教育を推進します。 ・可燃ごみ及び不燃ごみの更なる排出抑制と資源の再生利用の促進いたします。 ・事業者に向けたごみの減量化・資源化への啓発を行うこと及び減量化を促進するほか、搬入料金の見直し等を目指します。
	施策の目標	2 自然と調和した生活環境をつくる		
	施策	1 廃棄物処理・リサイクル		
	施策内容	ごみ収集・し尿処理・廃棄物対策の推進、ごみの減量化・資源化の推進		
その他，根拠法令及び分野別計画等		・廃棄物処理法 ・一般廃棄物処理基本計画 ・一般廃棄物処理実施計画		
事務事業名		**じんかい処理事業**		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）　③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			③ インプット（投入）	
活動名・事業名（対象年）	Ｒ７活動・事業内容	指標（単位）	Ｒ７目標値 / Ｒ７実績値	Ｒ８目標値 / Ｒ９目標値	Ｒ７予算額	Ｒ７決算額
家庭系一般廃棄物収集（R7・8・9）	家庭から出されるごみの収集運搬	ごみ回収量（ｔ）	11,400 / 10,991	11,300 / 11,200	201,387 千円	201,376 千円
資源物（有価物）売り払い（R7・8・9）	家庭から出される資源物を回収して売払い、不用物再生利用の促進を図る。	資源ごみ回収量（ｔ）	500 / 537	550 / 600	0 千円	0 千円
資源回収報奨金（R7・8・9）	資源として再生利用のできる不用物の回収を行った団体に対して報奨金を交付し、不用物再生利用の促進を図る。	集団資源回収量（ｔ）	700 / 586	700 / 700	4,000 千円	2,934 千円
生ごみ処理機購入費補助金（R7・8・9）	生ごみ処理機購入者に対して一部補助金を交付し、家庭から排出されるごみ減量化及び資源の有効利用を図る。	実施件数（件）	55 / 33	60 / 70	663 千円	390 千円
生ごみ堆肥化事業（R7・8・9）	常総環境センターが主体となり、家庭から排出されるごみ減量化及び資源の有効利用の一環として、希望された世帯が生ごみ堆肥化事業を実施している。	実施件数（件）	130 / 74	150 / 170	0 千円	0 千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	Ｒ７実績値
ごみ排出量	11,400ｔ	10,991ｔ
リサイクル回収量	500ｔ	537ｔ
1 日 1 人当たりのごみ排出量	530ｇ	529ｇ

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
ごみの減量化に向けた取り組みについては、ごみカレンダーの作成、チラシ作成等にＱＲコードを活用し、よりわかりやすく、より目につきやすい方法で市民周知を図ることができた。	□コスト	□活動	□成果	□その他
	今後の方向性			
	ごみの減量化のためには、排出者である市民・事業者の協力は必要不可欠である。 そのために、市民や事業者に対し、ごみの排出の抑制や資源化を粘り強く啓発し、５Ｒ運動の施策等により、資源を有効活用する循環型社会の実現を目指します。			